

# みそら野便り 2007・夏号

8月に入りました。そして、漸く関東甲信越の梅雨明けが発表されました。白馬も、昨日と今日の間に線を引いたように季節が変わりました。さあ、白馬の夏&避暑地の夏の始まりです。

前回のみそら野便りの中で夏号の発行を宣言した覚えが・・・『ラ・プランス夏の特別号』を添えてお送りします。今回のラ・プランスには、6組のみそら野別荘ご所有者が別荘ライフを語ってくださっていますので楽しみながらお読みください。すでに別荘へのご入居も始まっていますので、直接お渡しした方への重複がありましたらご容赦ください。



## 続・熊の話

昨秋大騒ぎだった熊出没の件。冬眠明けの春以降もチラホラ目撃情報があります。熊戒厳令とまでは行きませんが～朝夕のお散歩時などはお気をつけください。

## 地上波デジタル放送開始

みそら野別荘地は地形形状そして樹木の成長により、TV電波の受信状況が悪く、TV視聴でお困りの方も多いと思います。今秋より地上波デジタル放送が始まりますが、視聴難が解決するか否か？現段階では予測できません。

みそら野別荘地内は、光ケーブルが全域工事完了の様です。インターネットを利用し、パソコンでTV視聴されているご別荘もあります。

## 飯森地区への白馬村新ごみ処理施設建設問題

2月の新聞で唐突に『新ごみ処理施設建設地の有力候補地に飯森決まる』と発表されて以来、村内外を問わず、建設そのものに対して、又は建設地決定までのプロセスに対して～反対の気運が高まっています。現在も地区ごとの説明会や話し合いが継続されています。6月後半には、「白馬村新ごみ処理施設を考える連絡協議会」から白馬村太田村長宛に「処理施設の計画からの白紙撤回を求める署名簿」が渡されました。「この署名は住民の気持ちの一端として受け止め、参考にさせていただく」との村長コメントがあったようです。

先日の中越沖地震を受け、活断層が走る線路上にごみ処理施設を建設する事への是非もクローズアップされる事は必至です。糸魚川-静岡構造線に存する白馬村、通常は地震も少ないのですが、今後大きな地震が予想される地域になっていますので、専門家の意見も踏まえ慎重に検討されなければならないでしょう。

## 不動産動向

微かに感じていた白馬の不動産動向への光・・・どうやらトンネルの出口は確かに見えてきました。(でも～あまりに苦しい地底探検隊参加期間が長かったので、この光は本物かい？と、つい懐疑的になってしまうのです)

昨夏から、資料請求&問い合わせ&見学&成約共に上向いていきましたが、その流れは止まらず、今春のGW以後成約件数が二桁になりました。但し、相変わらず価格が上昇に転じるまでには至っていません。また、長らく売却が適わず「その日」を待ちつづけていらっしゃる方もまだまだ多いのです。今までの「みそら野別荘地アピール」という仕掛けは功を奏していると思いますが、次なる策はいかに！！と考える日々です。次回冬のみそら野便りで、不動産動向を分析し詳しくご報告したいと思います。晩秋までは分析より売却に力を注ぎますので～。

新規に土地を購入される方は、永住を視野に入れた別荘建築を目指して・・・という方が多く、夢に向かっていらっしゃる方のお手伝いができるというのは嬉しいことです。土地購入後すぐに建築を始められる方が多く、みそら野は今、建築が賑やかになってきました。皆様方は別荘暮らしのご先達です。新しき隣人を宜しくお祈りします。

このみそら野便りの裏面には、坂口治義様の「白馬に魅せられて」という文章を載せさせていただきました。白馬への思いが伝わってきます。坂口様ありがとうございました。ぜひ黒須様、坂口様に続く原稿をお寄せください。皆様楽しみにされていますので～宜しくお願いします。

## <ご案内> 掃除&クリーニング

別荘のお掃除依頼をお受けした場合、現在のところ、クリーニング姫川舎(小谷村)に発注しています。初めての場、特殊な場合(大掃除、布団干し付、外壁や窓掃除等)は、前もって見積りの上お掃除に入ります。金額も事前にわかりますのでご安心かと思えます。ハイシーズンはお掃除の予約が込み合いますので、お早目のご依頼をお願いします。お掃除のご依頼は弊社まで！！

クリーニングについては、別荘まで直接お引取りに伺って来ます。 0261-82-2146

## <ご紹介> お食事&お弁当

みそら野近くのトーカン地域に『ようこさん家』という名前のおこじんまりとしたレストランがあります。お昼時と夕食時の開店です。お食事もお弁当が美味しいですよ。家庭の味満載で季節の野菜料理がとて上手です。ボリュームも満点。お届けOKとの事。昼は¥800～ 夜は¥1,200～。私たちがささやかな贅沢と称して週一回このお弁当を届けてもらっています。0261-72-3720

## 不動産動向余談

白馬の土地価格下げ止まりを微力ながら仕掛けている最中・・・『長野県の地価下落止まらず』の報が新聞&TVで賑やかに発表されました。がっかり！！中央から遠く離れていますが・・・ここに暮らしていると地方であるがゆえの格差や経済波及効果の時間差等をかなり切実に感じる事ができます。約30年を「中央」に生きた私は、その時には思いも及ばなかった「地方」で生きてこそ見えるものを感じるものがある事を思い知るのです。どちらが良い悪いではなくて～圧倒的違いをどう捉えるかという事かなあ。

切り捨てられる側を知った今、政治に敏感になった・・・

## 夏&秋の白馬をぜひ満喫ください！

白一色の白馬&北アルプスの麓でのスキーもよし。あたり一面一斉の芽吹き&柔らかな新緑の頃もよし。高原の夏の光もよし。しかし、秋も深まりを見せる頃の白馬はまた格別に素晴らしい。空も風も樹木の紅葉も山巒までくっきりと見える冴え渡った空気も。夏の後ろではすでに秋が待っています。それぞれの季節が皆様のご滞在をお待ちしています。

## 白馬に魅せられて

坂口 治義

私が白馬に魅せられてから30年になろうとしています。白馬と関わりを持つきっかけは、昭和53年5月のゴールデンウィーク明け、みそら野にある義兄の別荘を訪れたことでした。

当時、思い出に残っているのは、エコーランド大通り境界の牧歌的な雰囲気漂う風景です。シェークスピアホテルの場所に「白馬文庫」という名のカフェテラスがありました。テラスの芝生と白樺が、五月晴れの空に残雪の山と重なった風景は今でも脳裏に焼き付いています。それは異国に来たような気分させてくれました。別荘地内にはまだ少し雪が残っていて、八方ではスキーをしていました。夜は、まだ火が恋しくなる気候でした。

白馬文庫の奥にはプールがありました。真夏でも今より別荘の水道水が大変冷たかったので、プールの水もさぞや冷たかったと思います。

現在は、ロータリーの角に「聖白馬教会」が建っていますが、当時はアンノン雑誌に特集されるなど、白馬の宿のイメージを変えたパイオニア的な「プチホテルベルプレ」がメルヘンチックな佇まいで林の中に建っていました。そういえばこのホテルの中にもプールがありました。

### 別荘土地購入

最初に訪れた時の強烈な印象から、私も何時か白馬に別荘を持ちたいと思い、既に販売が終了していた第三次の一角を昭和54年に購入しました。蛇足ながら今の不動産の相場が当時の購入価格に限りなく近づいています。

白馬に土地を購入したこともあって、一層、白馬に対する思いが募り、それからというもの毎年のように訪れることになりました。

夏休みの家族旅行は恒例となり、幼い子供を引き連れ、八方池と大雪溪白馬尻へ連続してトレッキング、糸魚川へ海水浴と出掛け、欲張った日程を過ごした記憶があります。また、天候に恵まれなかったときは、松本市と大町の博物館と資料館巡りにと時間を割きました。

家族をグリーンスポーツの森などで過ごしてもらい、私は夢であった白馬岳山頂に登りました。天候にも恵まれ、下りの稜線から白馬大池がとても美しく見え感激しました。しかし、梅池高原までの岩場の下りには難儀をした覚えがありません。もう一度挑戦したいのですが、あの下りの辛さを思うと二の足を踏みます。

### バブル時代

バブル期のお盆の時期、エコーランド大通りをロータリーまで通行するのに、あまりに人通りが激しいので往生したことがありました。今から考えると隔世の

感があります。翌年、同じ時期に人通りの激減にびっくりして、乗り合わせたタクシーの運転手さんに聞いた覚えがあります。運転手さんも「どうしたんでしょうね？若い人は海外でも行ったのかね」と不思議がっていました。今にして思えば、バブル崩壊の予兆だったのかも知れません。

バブル期の話としてこんなこともありました。私の所有している土地を欲しがっている人がいるので譲って欲しい、ついでに代替地を用意するから見てくれないかと、わざわざ東京の自宅まで白馬村の不動産屋の方が尋ねてきました。

当時手放して、今改めて購入すれば差益が生じたかもしれません。

この頃、長野オリンピック開催が決定し、「白馬」の名もメジャーになりました。オリンピック開催の経済効果も空しく、道路は多少便利になったものの一過性のお祭りで終わってしまったようです。

### 別荘建築

オリンピックも終わった翌1999年、いよいよ夢だった別荘建築へ腰を上げました。自分の年齢を考慮すると別荘ライフを楽しむには、ラストチャンスと一大決心をしました。

何しろ土地購入から20年も経ってからのことですから、この間は、専ら建てるとすればどんな家が良いかに思案していました。いろんな建築工法を見て回り研究しました。在来工法から各種のログハウスまで、名鉄別荘地のログハウスに体験宿泊もしました。結局、マシンカットのログハウスに決めましたが、決めるまでの間は非常に充実した毎日でした。

建築中には何度か白馬に足を運びました。まだ、東京からの直通バスが無かったので、バスで松本へ、松本から糸魚川線にと乗り継ぎ、ローカルな景色を眺めながら旅をしたこともありました。

### 別荘ライフ

別荘が完成してから今年で8年目になりました。おかげさまで別荘ライフを堪能しています。冬の寒さを心配しましたが、東京の家よりも暖かく、毎年、正月に来ると東京に帰りたくありません。去年は20数年振り的大雪で、屋根から落ちた雪で、駐車してあった車が道路に半分押し出される被害に遭い、自然の怖さも体験しました。

別荘ができてから日曜大工に精を出すようになりました。建築資材が残っているので、材料を見て次は何を作ろうかと思いを巡らせています。

今では白馬が友人達と交流の場になり春夏秋冬楽しんでいきます。そんなわけで年間、20日から25日宿泊しています。今は第二の古里です。団塊世代ですからますます利用する機会が増えるものと思っています。